

委員からの御意見・御提言(次期総合計画(全体像)について)

(委員五十音順)

No.	委員氏名	御意見・御提言
1	狩野 徹委員	人口減少に対する考え方について、人口が減ることがマイナスの要因として取り上げられることが多いが、「コンパクトな」「顔の見える」のように、良い面も積極的に捉えてみるのはいかがか。 どうしても、「賑わい」「交流人口を増やす」のようなものに焦点を当てるが、実際難しいことも多くある。量ではなく「少数で質の良い」地域を支援していくことも重要と考える。
2	五味 壮平委員	次期総合計画について、県のまち・ひと・しごと総合戦略との関係はどうなっているのか。
3		幸福度に関する指標をKPIに用いるということは個人的には悪くない方向だと思うが、施策や事業の成果がすぐに幸福度にはねかえってくるかというとなかなか微妙かもしれない。 幸福度測定の方法、各施策におけるKPIの設定方針、そして評価を行う際の時間スパンの考え方などについて、過去になにか議論があったとしたら教えていただきたい。
4	水本 孝委員	定住人口・交流人口の増加を上位計画に示すべきと考える。 国県等で人口推移見通し示されているが、岩手県は人口が著しく減少すると予測されている。この課題に対し、どのように流出を防止し、流入を促進させるか、産業振興や子育て支援など計画を策定する必要がある。 1. 若者定住のための魅力的な就業機会の拡大 2. 若者定住のための住居支援 3. 子ども出生率向上に向けた支援 4. その他 これらの計画は、他県より優れた大胆な戦略性の高いものであるべきである。 また、限られた予算の中でも優先的に十分な対策費を計上すべきと考える。
5	八重畑 祐見子委員	資料1-3について、女性・若者・高齢者・障がい者と区別して記載されているが、ここでは「県民一人ひとり」と表現した方がいいのではないかと。

※ いただいたご意見等は、口調を揃えるなど、一部手を加えさせていただいております。